

会 議 録

会議の名称	令和7年度第2回戸田市上下水道事業経営審議会
開催日時	令和7年12月16日(火) 午後2時～午後3時45分
開催場所	新曽南庁舎 4階 会議室
会長氏名	石井 晴夫
出席者名(委員)	石井会長、宮田副会長、田中委員、古井委員、石田委員、大貝委員、芳賀委員、前野委員
欠席者名(委員)	富岡委員、畠委員
傍聴人	1名
事務局	水安全部長 五條 宏 水安全部次長兼総務課長 東口 俊博 水安全部次長兼水道施設課長 山老 英巳 下水道施設課長 寺尾 亮 他職員5名
議 題	案件1「上下水道事業経営の今後について」 案件2「上下水道ビジョン及び経営戦略の素案について」 案件3「戸田市上下水道事業包括委託(第3次)に係る受託業者決定について」
会議結果	案件1「上下水道事業経営の今後について」 上下水道事業経営の今後について、審議。 案件2「上下水道ビジョン及び経営戦略の素案について」 上下水道ビジョン及び経営戦略の素案について審議。 案件3「戸田市上下水道事業包括委託(第3次)に係る受託業者決定について」 戸田市上下水道事業包括委託(第3次)に係る受託業者決定について報告。
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	別紙のとおり

発言者	内容
事務局	<p>【開会】</p> <p>【水安全部長挨拶】</p> <p>【会長挨拶】</p> <p>【資料確認】</p> <p>【委員出欠状況報告】 委員総数10名のうち、半数以上の8名が出席したため、戸田市上下水道事業経営審議会条例第5条第2項の規定により会議成立。</p>
議長	<p>【議事】 案件1 上下水道事業経営の今後について、事務局より説明願いたい。</p>
事務局	<p>【「上下水道事業経営の今後について」説明】</p>
議長	<p>上下水道事業経営の今後について、事務局から説明していただいたところであるが、これまでの説明について何か意見・質問等があったらお願いしたい。</p>
委員	<p>ビジョンには今後3年ないしは5年毎に料金改定の必要性が記載されているが、市として県水に係る受水費や県の維持管理負担金の値上げに対して反対を主張できるのか。</p>
事務局	<p>戸田市（水道供給者）と戸田市民（水道利用者）の関係性を埼玉県と戸田市の関係性で同様に考えた場合、埼玉県（水道供給者）と戸田市（水道利用者）に置き換えられる。当然、県も水道事業を担うためには、経費がかかることから、値上げができなければ、同じく破綻しても良いのかという論理に繋がる。下水に関しても同様であることから厳しい状況である。</p>

委員	埼玉県全市で反対や値上率が高すぎる等の意見を申し立てる事はできないのか。
事務局	県が一般財源を投入して、各自治体の負担を下げるという手法はありえると思うが、その政策判断は市では無い。8年度からの県水値上げに際しては、構成自治体のヒアリング等があり、「値上率を抑えて欲しい」、「過剰な積み立てはしないで欲しい」、「準備もあるので値上げを1年据置いて欲しい」等の意見の申し立てを行い、若干の負担軽減は図れたが、使用者と利用者という立場であるため、全ての要望を実現させるのは難しい状況である。
議長	水道の場合には、県水用水供給に関して、構成団体に意見を聞くことが決められていることから、県が水道の用水供給単価を上げる場合には、構成団体に説明を行い、且つ意見を聞かなければならない。しかし、県の流域下水使用料に関しては、戸田市にある下水道の終末処理場であるが、これは一方通行の判断で良いことになっている。これは債権の問題が関わっており、下水は公債権であることに起因している。そのため、下水道の使用単価の値上げの際に、利益共有している利用者である構成団体に意見を聞くということは難しい。そのため、委員の指摘もその通りであるが、水道と下水道では制度が異なることから、構成団体で徒党を組み値上げを阻止することは難しい。
委員	上下水道ビジョンには、料金改定しか解決策がないと感じてしまうので、もう少し、将来に期待できる内容があったら良いと思った。
委員	大口の企業が戸田市から撤退してしまうという話があったが、大口企業が地下水に転換または、地下水を掘るという事例はあるか。
事務局	水道については、企業が地下水へ転換するという動きは聞いていない。今回の大口である使用者の撤退が及ぼす影響は大きいですが、それ以外の企業が撤退となってしまっても、それ程大きな影響は出ないと認識している。
委員	資料1の33ページの中段に資産維持費3%を含むとあるが、これは、あ

	<p>くまで全国標準値であるが、戸田市で必要な値という観点では、3%が必要な値なのか。</p>
事務局	<p>今回のビジョンや中長期経営戦略については、あくまで国の求める基準を採用している。しかし、実際に料金改定を行う際には、戸田市の現状を勘案し決定する必要があるため、3%になるのか2%になるかは、今後の審議の過程で決定していくものと考えている。今回のビジョンについては、標準基準の3%を採用している。</p>
議長	<p>先程の審議の中でも事務局から説明のあった西部浄水場の更新には、莫大な費用が必要なため、やはり3%計上しないと整備が不可能であるとのことなので、これは、前回の答申で料金改定率60%超という数字が積算されたところである。本日は、ビジョンの他に、経営戦略の審議もあり、両計画とも極めて密接に関係するので、事務局の説明後に審議したいと思う。</p> <p>続いて、案件2 上下水道ビジョン及び経営戦略の素案について、事務局より説明願いたい。</p>
事務局	<p>【上下水道ビジョン及び経営戦略の素案についての説明】</p>
議長	<p>上下水道ビジョン及び経営戦略の素案について、事務局から説明していただいたところであるが、これまでの説明について何か意見・質問等があったらお願いしたい。</p>
委員	<p>今回の料金改定では、議会から緩やかな改定に努めて欲しいとの要望が寄せられていたが、現実には非常に厳しい状況にあると感じている。誰もが緩やかな改定を求めると思うが、そうは言っても現実を見たときに、下水道を含め水道は非常に重要なインフラであるため、ある日突然断水した場合、一番被害を受けるのは市民である。現実を受け止め、料金改定の都度、大騒ぎするのではなく、淡々と改定を行っていくべきである。先程、川口市や蕨市との広域連携の説明もあったが、料金水準の高い川口市からすれば戸田市の料金は安すぎる、川口市と同じ料金水準になって初めて広域連携のテーブルにつけると言われかねない。また、浄水場の更新や水道法で規定された率の遵</p>

	<p>守なども含めて、議員や市民に前広に理解を求め、持続可能な水道事業を守るために、下水道も含めて、淡々と料金改定に取り組むという信念が必要である。</p>
委員	<p>今回水道料金が改定されたが、他市と比較すれば戸田市はお手頃な価格であるので、今後も価格改定の必要な理由、内容等を十分に説明されて、市民に理解を求めていくことが必要である。</p>
委員	<p>上下水道ビジョンについては、以前のものより随分見やすくなったので良いと思うが、見やすくなった反面、悪いところも露見されるような感じもする。</p>
委員	<p>2点あるが、1点目は、上下水道ビジョンと中長期経営戦略の策定期間は、10年ということだが、これは国や県の基本方針、ビジョンも同じ期間で策定しているのか。また、ビジョンや経営戦略の見直しは、どのような期間で予定されているのか。インフレや金利上昇、料金改定など外部環境の変化が著しい中で、その辺りの見直し方針について伺いたい。2点目は、ビジョンは上下水道を統合して一貫性を持って見やすい形で策定されたと思う。年初にパブコメを実施されるということだが、実際策定したビジョンをどのように市民に内容を説明していくのか、周知していくのかというところを伺いたい。</p>
事務局	<p>策定期間は10年としている。基本構想は10年間、中間の5年で見直しというのは、国・県、戸田市であれば総合振興計画も含め一般的な考え方となっている。今回についても同様に進めていく。そのため見直し期間は5年後を見込んでいる。</p> <p>周知の方法であるが、見やすいように概要版という形で2～3枚に要約した資料を一緒に作成してはいるが、それを如何に見てもらおうかである。これまでも、ホームページや広報紙に掲載してきたが、やはり見てもらえていない状況である。実際、料金改定の際にもパネル展示や福祉センターで説明を行ったが、実際の来場者は殆どいないというのが現状である。同様に出前講座も行ってもオーダーがない状況である。料金値上げは反対という声は聞く</p>

	<p>が、その説明を求められないというのが現状であり、これが課題と捉えている。</p>
議長	<p>一番のユーザーである市民に説明をしっかりと行き、市民からの理解が得られるよう、今後とも創意工夫して周知を継続していただきたい。</p>
委員	<p>資金運用の関係であるが、水道ビジョンについては令和21年で利息が5億5,000万になると説明があったが、下水道の利払いはどれほどであるか。</p>
事務局	<p>下水については、経営戦略78ページに、投資財政計画の収益的収支の表があり、収益的収支の支出の部分、下から4段目に支払利息の項目がある。これで比較すると前年度決算（令和6年度決算）1億9,000万円に対し令和11年度には2億6,700万円である。しかし下水では、雨水処理にかかる部分については、一般会計から負担金が入ってくるため、全額が料金に反映されるわけではない。概略で半分程度は一般財源の補助、即ち負担金ということになる。</p>
委員	<p>企業債でも10年、20年、30年となってくると、一昨年くらいまでは30年で良かったが、近年利率も上がっているため、その辺りで何か考えがあれば教えて欲しい。</p>
事務局	<p>今回のシミュレーションでは、30年で2.4%とみている。ただ現実はいかにかなり乖離している状態であるので、実際の料金改定のスキームの中では直近3%程度になると思われる。今の下水道に関しては、まだ30年規模で借りられるとは思いますが、水道では30年が難しいので、実際は民間の縁故債を10年で刻み、1.5%か幾らになるかは未定だが、直近の金利ごとに現実的な率を算定していくと考えている。</p>
委員	<p>要は実務的には10年債の更新のようであるが、これが現実的だと思うので、その方向性で良いと思う。また、法定耐用年数に対して、耐久年数という考え方については、どのように捉えているか。経営戦略で全国的に耐用年</p>

<p>事務局</p>	<p>数50年超えると老朽化と言っているが、現実的にはそれは少しずれているように感じている。</p> <p>管路の更新に関しては、法定耐用年数で一律に悪くなるのかという訳ではない。特に下水道管の場合は、実際に管路の状況を確認可能であるため、老朽化している管に対して調査をかけ、傷んでいる箇所を集中的に更新・更生し、機能を保持していく形で考えている。一方、水道管については、管の中身を確認することができないため、老朽化していると予測される基幹管路から更新していかざるをえない。現在 DX の発展により、漏水リスクの高い箇所を判明するスキルがあるが、まだ正確性には欠ける部分もあるため、今後の検討課題であると認識している。今後、DX が進展し実用化されれば、高確率で漏水スポットを見付けられるようになり、管の更新も可能となるが、水道に関しては過渡期だと考えている。おそらく今回のビジョンの前期5年の中ではあまり大きな動きはないが、後期5年では状況が変化していく可能性はあると思う。現在はそのような状況である。</p>
<p>事務局</p>	<p>下水管で管の中を確認して老朽化していた率は、国では20%想定で示しているため、本市も20%を想定し修繕の基準としている。実際に調査するとそこまでの数値ではないが、20%想定で修繕していくと考えている。しかし全体で更生を行うのか、部分的な修繕で済むのかという判断は課題であるため、どこまで手をかけるのかという点は考えていかなければならない。計画上は2割で事業費や更新を積算しているが、実際は15%程度である。緊急度1については約1%なのだが、基準が変わり厳しくなったので、緊急度1は更に増加している。修繕しなければならない割合というのが、八潮市の事故の件もあり、基準がより厳しくなり、緊急度1が多くなっている。現在は、計画上は2割で、不確定要素を一定の数値で見込み計画上は積算している。</p>
<p>委員</p>	<p>いつまで耐用可能かは維持管理も大変重要で、そこを適正に対応していれば耐用年数も伸びる。対応していないところは10年の耐用延長は不可能である。やはり今の説明の通り、維持管理をするための計画のようなものは、今後考えていくべきであると思う。ただこれは簡単に考えられるものではない</p>

	<p>いと思う。全体の中から限定した地域であったり、それ以外の地域であったり、直線又はカーブがある箇所など様々であるので、簡単に考えることはできないと思う。今後はそのような視点からもぜひ考えて欲しいというか、今後はそういう面も重要な論点として見ていきたいと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>本当に大量の資料で苦労があったことと思う。私からは1点、本当に市民目線という所だが、先程の話にあった、値上げをしていくという理由については、私たちは理解した。市民サイドでは何か節水をする等の取組みを行うことで、例えば水道料金に影響することがあるのか。維持管理が上下水道では大変大事であることは理解したが、その維持管理に市民は何もタッチできていないと感じる。市民モラルが実際予算に変動して、市民14万人で、少なからず私たちがタッチできるポイントみたいなものは何かあるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>分かりやすい意味で言うと下水において、下水に余分な処理費用がかかる油などを極力排水しない。できるだけ油などは紙でふき取って、汚水処理に回らないようにすることが個人で可能な対策になる。あとは企業等が、油などをそのまま排水してしまっている事例があり管が詰まってしまうこともあり、影響の大きい部分である。これは確実に経費削減に繋がると考える。逆に難しいのは水道である。節水は、逆に利益が減ってしまうため、水不足にならない程度には使ってもらえると非常に助かる。ロスとなるのは漏水の部分である。メーターを介した部分については料金を徴収しているのでダメージは無いが、本管からメーターまでの部分で漏水しているケースが結構多い。住居を建て替える際に、配管は直しているが、メーターに引き込まれている管は道路の下になるので、殆ど直さない。そうなると、そこから漏水する分については、市の経費で修繕している。給水管も利用者が自費で直していただければ非常に大きく助かる。</p>
<p>委員</p>	<p>例えば先程の下水の話だけに絞ると、市民が適正に油の処理を行えば、何%くらい処理費用が軽減するや、管の維持が図れるなどというデータはあるのか。市民サイドでは、分からないので、データを表にして周知していくというのも1つの案であると思った。</p>

委員	<p>やはり将来世代まで上下水道を繋いでいくということが、水道事業者の使命である。そのため、必要な料金改定はきちんと行い、収益を確保して将来へ繋いでいかないといけないという意識で戸田市が対応頂ければと思う。また議員の皆さんには戸田市の将来がかかっているので、忌憚のない意見交換を行い、明るい戸田の未来を達成して欲しいと思う。</p>
議長	<p>本日の会議においては、時間も限られることから、今回、頂いたご意見を踏まえ、上下水道ビジョン及び経営戦略の素案の修正について、議長に一任いただくこととしてよろしいか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
議長	<p>それではそのように決定する。事務局においては、今回、頂いた意見の取りまとめをお願いします。</p>
事務局	<p>今の内容の通り意見を取りまとめ、会長に報告したいと思う。またビジョンと経営戦略については、年明けに市議会の市民生活常任委員会から、今年度の勉強会のテーマとして上下水道インフラの報告書が提出されるので、それらの内容も含めて改めて修正を行う予定であることを了承いただきたい。</p>
議長	<p>続いて、案件3 戸田市上下水道事業包括委託（第3次）に係る受託業者決定について、事務局から説明願いたい。</p>
事務局	<p>【戸田市上下水道事業包括委託（第3次）に係る受託業者決定についての説明】</p>
議長	<p>ただいま、戸田市上下水道事業包括委託（第3次）に係る受託業者決定についての説明が終わった。</p> <p>準備から開札・契約まで、大変お疲れ様でした。包括委託業務については、近年、全国的に応札者がなく苦慮している事業者も多くある。このような状況では、やはりしっかりとした維持管理も含めて、インフラ整備やメンテナンスを行っていかないと、民間事業者も応札できない事態となる。戸田市で</p>

は、引き続き市民の安心・安全な水の供給を維持してもらうためにもよろしくをお願いしたい。

質疑がないようなら、本日の議事は以上となるため、進行を事務局に返す。

【閉会】